

平成 22 年 5 月 31 日現在

研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2007～2009
 課題番号：19520606
 研究課題名（和文）「朝鮮時代の朝鮮図と外国図および明代中国と江戸時代日本の朝鮮図に関する研究」

研究課題名（英文）Research in Choson-Period Korean Maps of Foreign Countries and Ming Chinese and Edo-Period Japanese Maps of Choson Korea

研究代表者
 ロビンソン ケネス (ROBINSON KENNETH)
 国際基督教大学・教養学部・上級准教授
 研究者番号：10306904

研究成果の概要（和文）：

本研究では、朝鮮や明朝中国、日本で作製された朝鮮地図をテーマとして、朝鮮国内や外国における朝鮮の表象を取り上げた。特に、朝鮮王朝が作製した世界図や郡県図、浦図、そして明朝中国で16世紀半ばにはじめて編集された『廣輿圖』の中にある朝鮮図の郡県名などの内容を整理し、様々な地図の内容や作製時期を確認した。また、朝鮮後期の地図に見られる壬辰倭乱の記憶のあり方を研究した。

研究成果の概要（英文）：

In this research project on maps of Chosŏn Korea compiled in Chosŏn, Ming China, and Japan I examined representations of this country in domestic maps and in foreign maps. In particular, I compiled data about Chosŏn in world maps and county maps produced in Chosŏn and in foreign maps such as *Guang yutu*, a gazetteer which was first completed in the mid-sixteenth century. This information enabled more precise dating of a map of the world that the Chosŏn government produced and insights into other images of Chosŏn. I also examined representations of the memory of the Japanese invasion of Chosŏn from 1592 to 1598 in Korean maps from the late Chosŏn period.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	800,000	240,000	1,040,000
2008年度	600,000	180,000	780,000
2009年度	600,000	180,000	780,000
年度			
年度			
総計	2,000,000	600,000	2,600,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・東洋史

キーワード：明朝中国、『廣輿圖』、郡県

1. 研究開始当初の背景

地図は一つの社会の中で形成されるテキストでもあり、そのテキストの内容は当該社会の歴史的特質と有機的に関連している。したがって我々が地図を一つの社会を描写するテキストとして位置づけ、研究、分析することによって、地図の歴史史料としての重要性が明確になると考えられる。

本研究で分析対象とする古地図史料の収集状況については、平成19年度の計画にある2枚の「天下輿地圖」を既に一部収集した。また平成20年度の計画に備えて、朝鮮地図集成のセットの一部、古地図コレクション集成本の一部を購入したため、17世紀以後の地図に見る対日関係の研究はすぐさま着手出来る。また琉球国図の研究については、今後収集する史料を基に、2005年の学会報告をさらに発展させる。さらに平成21年度の計画に備えて二本の『廣輿圖』を収集した。同じく伊藤東涯の手になると思われる地図帳を入手した。

15世紀以後に作成された朝鮮地図と朝鮮で作成された各国地図については、主に書誌学的プロフィール、地名と形式、作成年代や地図の系譜関係などについて多くの先行研究があることを確認した。韓国では李燦、楊普景、吳尚學、李相泰、裴祐晟、李起鳳の各氏、日本では海野一隆、川村博忠、河村克典の各氏による著書と論文があり、西洋の韓国地理学、中国地理学や韓国史の専門家による研究もあり、読み始めた。

2. 研究の目的

本研究は、15～18世紀の東アジア（日本、朝鮮、明代中国）で作成された地図、とくに朝鮮時代の朝鮮図と外国図を分析し、朝鮮における対外観を解明する。加えて、朝鮮で作成された朝鮮図、日本図、琉球国図の内容と、それらの内容が語る国内および対外関係の歴史、そして明代中国と江戸時代の日本で流布した三種類の朝鮮図を検討することで、それらが開示する朝鮮社会像を明らかにするものである。

また本研究が焦点に当てる前近代の朝鮮では、数カ国を描写する地図が複数の史料に基づいて作成された。地図の中に描かれた外国は、もともと当該国で作成された地図をベースに描かれることが多いが、朝鮮という異文化の中で理解され、その文化の価値観を通じて再構成されている。

本研究は15～18世紀に作成された国家地図、個人が写した地図である手筆地図、印刷

地図、筆写地図を手がかりに、先行研究が明らかにした書誌学的プロフィール、内容紹介、作成年代、地図の系譜関係についての成果を踏まえつつ、地図が語る社会の特質（行政構造、軍事体制、対外関係、歴史事項など）について研究を進める。とくに朝鮮を研究対象の中心に据えながら、(A) 朝鮮で作成された朝鮮図、日本図、琉球国図、(B) 海外で作成された朝鮮図という双方向の視角から研究を進める。

3. 研究の方法

本研究は、三年間にわたって行った。毎年日本国内および海外で史料に関する調査・収集する必要があった。平成19年度には「天下輿地圖」を含む楊子器系東北アジア地域図の研究のため、韓国ソウル市内にあるソウル大学校奎章閣などのアーカイブを訪問し、原本地図の内容確認と関連史料収を行なうと共に、地誌資料集、最新出版の地図集成、朝鮮時代行政史関係の著書などを購入した。また、平成20年に行なう朝鮮前期の三浦地図研究のため、慶尚道東南部の郡県の守令と軍官の人名・在職期間・職歴や文官・軍官・蔭官出身表の作成作業を始めた。平成20年度にも、17世紀以後の地図、地誌、地図と関連する史料を調査し、それらを収集した。平成21年度は日本国内外に所蔵されている『廣輿圖』の「朝鮮圖」とその記事を収集した。「朝鮮圖」に現れる地名を表で整理し、差異を確認した。

4. 研究成果

平成19年度には、「混一疆理歴代国都之図」という最古の朝鮮で作製された現存世界図に関する論文を発表した。通説になった作製時期を再検討して、世界図の中の朝鮮図に見える地名と官僚制度を以ってより細かく作製時期を明らかにし、また、同時期の国家レベルのプロジェクトとの関連を検討した。文禄・慶長の役前後に朝鮮に朝鮮で作製されていた日本図に基づいて、日本に対する認識を取り上げた。特に、戦争後の日本図に焦点をあて、韓国語での先駆研究も参考にして、十八世紀初期に完成されて日本図の底図や作製過程を検討した。また、海外の図書館で史料収集を行なった。

平成20年度には、朝鮮前期における軍事体制と郡県の守令に関する研究を続け、『海東諸国紀』の中にある地図の資料収集と論文作成への準備を進めた。朝鮮東南部にある慶

尚道水軍基地浦に派遣された官僚の人名録や、慶尚道南部と沿岸郡県に任命された守令の人名録を整理した。そして、守令が科挙試験である文科合格者、武科合格者または蔭官のうち、どれに相当するのかを確認した。この研究に基づく論文は、平成22年に出版する予定である。さらに、平成20年に、朝鮮後期に作製された地図に見える壬辰倭乱と関連する情報の整理に着手した。特に、郡県図を中心に、朝鮮半島にあった陸軍戦場や水軍戦場、李舜臣の碑閣や祠、日本軍が築いた倭城をリストアップした。

平成21年度には、海外で作成された朝鮮国図を中心に、明と江戸期日本で作成された地図を研究した。16世紀に、明朝中国で『廣輿圖』という地図帖が印刷されているが、この地図帖には、明朝中国と外国が描かれており、数冊が現存している。これら数冊の地図帖の中の朝鮮図には、高麗時代における地名と朝鮮時代における地名が混在しているので、両時代の地名をおよび地名が使用された時期を確認し、印刷地図帖の朝鮮図にある誤字の表を作成した。今後、より詳細に地名変更を調べる必要がある。また、『廣輿圖』の十六世紀末のいわゆる海賊版の中国で作製された地図帖の中にある二枚の朝鮮図を取り上げて、印刷朝鮮図と手書き朝鮮図を分析する論文が近刊の予定である。

また、十五世紀後半に朝鮮で印刷された『新增東国輿地勝覧』の現存本と1539年に印刷された『新增東国輿地勝覧』の中の国図と道別の地図の中の東の海に描かれた蔚陵島と于山島を検討し、論文にまとめ、近刊の予定である。この論文では、『新增東国輿地勝覧』で于山島の位置が蔚陵島よりも朝鮮半島に近く描かれているが、それは『新增東国輿地勝覧』の地誌部で記載されている二つの島の順番を反映していると論じた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計10件)

- ①Kenneth R. Robinson, “Japanese Presence, Korean Military Bases, and Korean Maps in the Late Fifteenth Century.” *Acta Koreana* vol. 13 no. 1 (June 2010), 7-34. (査読あり)
- ②Kenneth R. Robinson, “Gavin Menzies, 1421, and the Ryūkyō *Kangnido* World Map.” *Ming Studies* no. 61 (May 2010), 近刊. (査読あり)
- ③Kenneth R. Robinson, “An Introduction to Extant Volumes from the 1487 *Tongguk yōji sūngnam* and the 1499 *Tongguk yōji*

sūngnam, and the 1531 *Sinjūng Tongguk yōji sūngnam*.” (*Kokusai Kirisutokyō Daigaku Ajia Bunka Kenkyūjo*) *Ajia bunka kenkyū* no. 36 (2010), 近刊. (査読なし)

- ④Kenneth R. Robinson, “Maps in Extant Volumes of the 1487 *Tongguk yōji sūngnam* and the 1499 *Tongguk yōji sūngnam* and in *Sinjūng Tongguk yōji sūngnam*.” (*Kokusai Kirisutokyō Daigaku Ajia Bunka Kenkyūjo*) *Ajia bunka kenkyū* no. 36 (2010), 近刊. (査読なし)
- ⑤Kenneth R. Robinson, “Addenda to “Images of Japan in Four Korean World Maps Compiled in the Fifteenth and Sixteenth Centuries.” (*Kokusai Kirisutokyō Daigaku Ajia Bunka Kenkyūjo*) *Ajia bunka kenkyū* no. 36 (2010), 近刊. (査読なし)
- ⑥Kenneth R. Robinson, “Daoist Geographies in Three Korean Maps of the World.” *Journal of Daoist Studies* no. 3 (2010), 91-116. (査読あり)
- ⑦Kenneth R. Robinson, “Images of Japan in Four Korean World Maps Compiled in the Fifteenth and Sixteenth Centuries.” (*Kokusai Kirisutokyō Daigaku Ajia Bunka Kenkyūjo*) *Ajia bunka kenkyū* no. 35 (2009:3), 135-159. (査読なし)
- ⑧Kenneth R. Robinson, “Yi Hoe and His Korean Ancestors in T’aeon Yi Genealogies.” *Seoul Journal of Korean Studies* vol. 21 no. 2 (December 2008), 221-250. (査読あり)
- ⑨Kenneth R. Robinson, “The Chinese Ancestors in a Korean Descent Group’s Genealogies.” *The Journal of Korean Studies* vol. 13 no. 1 (Fall 2008), 89-114. (査読あり)
- ⑩Kenneth R. Robinson, “Choson Korea in the Ryūkyō *Kangnido*: Dating the Oldest Extant Korean Map of the World (15th Century).” *Imago Mundi* vol. 59 no. 2 (June 2007), 177-192. (査読あり)

[学会発表] (計0件)

[図書] (計4件)

- ①ケネス・ロビンソン、「古地図の中に描かれた日本—朝鮮知識人が独占した日本のイメージ」(日本語)『壬辰倭乱—16世紀日・朝・中の国際戦争』(日本語)2008年、439-473頁
- ②ケネス・ロビンソン、「朝鮮をとうして見る15—16世紀海洋東アジアの形成」(韓国語)『東アジア』経済文化ネットワーク』(韓

国語) 2007年、203-229頁

③Kenneth R. Robinson, “Shaping Maritime East Asia in the Fifteenth and Sixteenth Centuries through Choson Korea” (英語) 『東アジア』経済文化ネットワーク』(韓国語) 2007年、289-317頁

④ケネス・ロビンソン、「古地図の中に描かれた日本—朝鮮知識人が専有した日本のイメージ」(韓国語) 『壬辰倭乱—東アジア三国戦争』(韓国語) 2007年、385-458頁

6. 研究組織

(1) 研究代表者

ロビンソン ケネス (ROBINSON KENNETH)
国際基督教大学・教養学部・上級准教授
研究者番号：10306904

(2) 研究分担者

なし

(3) 連携研究者

なし